

日本鉱物科学会 第2回定例評議員会議事録

日時：平成20年5月26日(月)18:00-19:45

会場：幕張メッセ 国際会議場 オーシャンB

出席：

会長：板谷徹丸

副会長：松原 聡

評議員：吉朝 朗，小暮敏博，松井正典，柳沢教雄，沼子千弥，
佐藤 努，坂本尚義，
赤荻正樹，大谷栄治，鍵 裕之，月村勝宏，阿部なつ江，
石渡 明，榎並正樹，
小畑正明，佐藤博明，土山 明，富樫茂子，馬場 敬，
廣井美邦，宮下純夫

庶務幹事：宮脇律郎・小山内康人

会員幹事：平島崇男・篠田圭司

会計幹事：留岡和重・工藤康弘

行事幹事：工藤康弘・大和田正明

和文誌編集幹事：藤巻宏和

英文誌編集幹事：榎並正樹・大谷栄治

渉外・広報幹事：柳沢教雄・赤荻正樹

特務幹事(学振科研費担当)：土屋範芳，
(会則・内規検討委員会)：土山 明

会計監査委員：高橋裕平

地球惑星科学関連学会連絡担当委員：大谷栄治・小暮敏博

三鉱連絡委員：小山内康人・小暮敏博

将来問題検討委員会委員長 大谷栄治

会長候補者推薦委員会委員長 石渡 明

日本鉱物科学会賞選考委員会委員長 松井正典

渡邊萬次郎賞選考委員会委員長 鹿園直建

日本鉱物科学会論文賞選考委員会委員長 坂本尚義

日本鉱物科学会研究奨励賞選考委員会委員長 赤荻正樹

日本鉱物科学会応用鉱物科学賞選考委員会委員長 入船徹男

桜井賞選考委員会委員長 加藤 昭(代理)松原 聡

報告事項

1. 会員報告(会員幹事)

会員数 遷移

- 1) 物故会員1名
- 2) 退会者9名+2件
一般正会員(7名)学生正会員(2名)賛助会員(2件)
- 3) 不明者(住所不明，本人連絡無し 調査中)5名
一般正会員(2名)学生正会員(2名)永年会員(1名)

2. 会計報告(会計幹事)

- 1) 平成19年度一般会計中間報告がなされた
- 2) 平成19年度特別会計中間報告がなされた

3. 会計監査報告(会計監査委員)

平成19年度科研費補助金内部監査と学会統合による両学会持越しの特別会計の監査報告がなされた

4. 広報・渉外報告(柳沢・赤荻幹事)

- 1) 緊急シンポジウム時の取材について、掲載新聞記事を紹介した。
- 2) HPの開設・更新状況を報告した。
- 3) 国際惑星地球年(IYPE)に4月22日に加盟した。
- 4) IMA小委員会から提案のあったElements誌の全会員一括購

読について編集事務局に問い合わせたところ、会員の一部分の限定購読も割引もできない旨、回答があった。全会員一括購読は当面予算的にも困難で見送らざるを得ない。

5. 和文誌(GKK)編集報告(GKK編集幹事)

<岩石鉱物科学 36巻4号(7月号)~37巻2号(3月号)>

- 1) 37巻2号(3月号)発行済み。
現在投稿論文は7編。その内受理1編，受理予定3編。
3号(5月号)に2編掲載し，6月初旬に印刷予定。
残り2編は7月号掲載予定。
- 2) GKKの2000年5月以降の電子ジャーナル化作業報告：
2002年，2003年は公開完了。
2001年と2000年は公開画面の最後の確認中。
投稿数は少なくないが，査読意見に対処した著者からの再投稿が遅くなる傾向にある。
より一層の投稿が臨まれる
データデポジトリについての検討を進める

6. 英文誌(JMPS)編集報告(JMPS編集幹事)

<JMPS102巻5号(10月)~JMPS103巻2号(4月)>

- 1) 平成20年5月26日(月)12:30-13:30にJMPS編集委員会を開催。
- 2) 103巻2号(4月号)発行済。
3号(6月号)原著論文4編掲載で印刷準備中。
4号(8月号)は特集号準備中
5号(10月号)掲載予定論文2編と連合大会Letter掲載予定
- 3) 2008連合大会講演をLetterとして募集中。
- 4) 新編集委員：根建心具，M. Satish-Kumar，下林典正，林謙一郎
- 5) J-Stageを利用したオンライン投稿システムの構築(当面は，投稿・受付時のみ利用し，査読は従来の方法で行う)

7. 行事・年会報告(行事幹事)

- 1) 日本地球惑星科学連合2008年大会
日程：2008年5月25日(日)~30日(金)
会場：幕張メッセ国際会議場
- 2) 日本鉱物科学会2008年年会・総会
日程：2008年9月20日(土)~22日(月)会場：秋田大学
LOCからの要望により、秋田大学工学資源学部、同学部附属
鉱業博物館に共催の依頼をすることになった。
日本学術振興会(JSPS)からの説明会について紹介があった。
- 3) 日本鉱物科学会2009年年会・総会
日程：2009年9月
会場：北海道大学
三鉱シンポジウムは日本鉱物科学会が担当

8. 庶務報告(庶務幹事)

- 1) 後援，共催，協賛報告
- 2) 「地質の日」

9. 地球惑星科学連合報告(大谷幹事)

- 1) 連合の法人化について
- 2) 国際地学オリンピックの開催について
- 3) 平成21年度AOGS開催提案について

10. 三鉱連絡会報告(小暮幹事)

三鉱名簿会計報告

次回発行は未定だが、3年後に向け積み立ては行う
秋田年会での三鉱シンポジウムは資源地質学会の担当で準備が進捗中である。

1.1. 特務幹事（科研費）（土屋幹事）

- 1) 平成19年度科研費補助金内部監査を平成20年5月16日に実施した。
- 2) 平成20年度科研費採択内定

1.2. 将来問題検討委員会報告（大谷委員長）

- 1) 委員会の構成の報告（委員10名、副委員長に小澤委員）
- 2) 若手の委員をコンピナーとして平成20年度鉱物科学会年会におけるシンポジウムを企画した。
- 3) 委員会名を「将来問題検討委員会」から「将来企画委員会」にしたい要望があった。
- 4) 行事委員会との連携・分担について意見があった。

1.3. 会則・内規検討委員会報告（土山委員長事）

会則・内規検討委員会において、「補助金の経理管理と執行に関する規則」について「運営細則の追加・修正案」をもとに審議・策定して原案を完成させ、3月24日に評議員に提案した。

1.4. 会長候補者推薦委員会報告（石渡委員長）

5名の正会員による1件の推薦があり、その推薦について審議した結果、委員全員が松原 聡 会員を日本鉱物科学会の次期会長に推薦することに賛成したので、本委員会として松原 聡 会員を次期会長候補者に選定したことを報告した。

当委員会から複数名を推薦し会員による選挙を実施するよう会則を変更すべきとの意見があった。

1.5. 学術会議の報告（大谷連携会員）

- 1) 学術会議地球惑星委員会の活動について
- 2) 地球惑星圏分科会の活動について:記録「地球惑星科学の現状と課題」について
- 3) 地球人間圏分科会の活動について:提言「陸域・縁辺海域...」について
- 4) 国際対応分科会の活動について、社会貢献分科会の活動について:加入団体の見直しについて、地学オリンピックなど

・承認事項

1. 会員承認

1) 入会の承認 合計8名

(内訳)一般正会員 5名, 学生正会員 3名

今後は入会承認の回数を増やすことが必要との意見があった。

2) 除名の議決(4名)

平成17年度, 18年度会費未納者

3) 復活の承認(4名)

2. 会長候補者推薦委員会(石渡委員長)

松原 聡 会員を次期会長候補者とする事が承認された。

3. 平成19年度日本鉱物科学会賞受賞候補者報告(松井委員長)

選考された、有馬 眞会員と平井 寿子会員を授賞者として承認した。

4. 平成19年度渡邊萬次郎賞受賞候補者報告(鹿園委員長)
選考された、森本信男会員を第24回渡邊萬次郎賞受賞者として承認した。

5. 平成19年度日本鉱物科学会論文賞選考委員会(塚本委員長)
選考された、以下の2編を授賞論文として承認した。

Hoshide, T., Obata, M., Akatsuka, T. (2006) Crystal settling and crystal growth of olivine in magmatic differentiation - the Murotomisaki Gabbroic complex, Shikoku, Japan. Journal of Mineralogical and Petrological Sciences, 101, 223-239.

Tomioka, N. (2007) A model for the shear mechanism in the enstatite-akimotoite phase transition. JMPS 102, 226-232.

6. 平成19年度日本鉱物科学会研究奨励賞受賞候補者報告(赤荻委員長)
選考された、寺崎英紀会員、市山祐司会員を受賞者として承認した。

7. 平成19年度日本鉱物科学会応用鉱物科学賞受賞候補者報告(入船委員長)

選考された、鈴木正哉 会員を受賞者として承認した。

8. 平成19年度桜井賞受賞候補者報告(松原委員)
選考された大西政之会員を受賞者として承認した。

・審議事項

会則・内規検討委員会 [日本鉱物科学会運営細則改定]

日本鉱物科学会運営細則、科学研究費補助金の経理管理と執行について審議し、策定した。

来年度から、広報幹事と渉外幹事を独立させることにし、会則・内規を見直すことになった。

「将来問題検討委員会」の「将来企画委員会」への変更を会則・内規に反映させることになった。

その他、会則・内規の問題点について会則・内規検討委員会で検討を続け、9月の評議員会・総会で審議、策定できるようにすることになった。

地質の日

参画団体に拠出金が求められたこともあったため、9月の評議員会および総会で決定することとした。

9月までは引き続きオブザーバーとして参加することになった。

次回(第3回定例評議員会は9月19日に秋田大学で行う。